

【鈍川】 大下・木地きじ

④1 鈍川溪谷

高縄半島最高峰の東三方ヶ森（1232m）の中腹から発した水が集まり、木地川となつて溪谷がつくられた。鈍川温泉からさかのぼっていくにつれ、様々に変化する美しい溪谷が見られる。初夏の新緑、秋の紅葉と、また季節や時間によっても移り変わる。車道からところどころ降りることができ、夏は涼を求める人たちが賑わう。遊歩道もつくられていて、森林浴を楽しみながらの散策もできる。



④2 森林館



鈍川温泉より約2km上流にある。ウォーキングにちょうどいい距離。地元の間伐材を使って建てられた美しい木造の休憩所。特に秋の紅葉が美しい。展示場には、林業で使われていた道具などが展示されている。

④3 水源の森



乱伐によつて荒廃した森林には貯水力がなく、水害や干ばつを繰り返していた。明治34年より、治山・治水のための森づくりが始まったのが最初。平成3年以降は本格的な植林が行われ、平成7年には「水源の森100選」に指定される。その後、国連のFAO（食料農業機関）から「アジアモデル林」に認定された。森林館から少し上ったところに水源の森の石碑がある。

④4 鈍川発電所取水堰しゅすいぜき

鈍川発電所から直線で1.5kmの上流にある取水口。川をえん堤でせき止め、トンネルを伝つて発電所の上まで流れている。木地川の絶えることのない豊富な水量があるからこそ、発電をすることができる。

